

岩手県立山田病院が再建 落成式にて「TMG東北医療支援プロジェクト」への感謝状を頂戴しました

2011年3月の「東日本大震災」で被災した岩手県山田町の県立山田病院が町内の高台にて再建され、来る9月1日（木）より診療が開始されることとなりました。これに先立ち、去る8月19日（金）には落成式典が挙行され、岩手県の達増拓也知事をはじめとする関係者約100人が出席して同院の新たなスタートを祝いました。また、この式典では、「東日本大震災」の発生後、約3カ月間、医師、看護師、リハビリスタッフ、事務職員合わせて73名のメンバーが、同院を拠点として医療支援活動を行った『TMG東北医療支援プロジェクト』（プロジェクトリーダー：横川秀男副会長）に対し、岩手県知事より感謝状の贈呈が行われました。

新しい病院は、鉄筋コンクリート造り2階建てで、病床数は50床と震災前から10床減りましたが、入院患者様の受け入れが再びできるようになりました。外来診療は、内科、外科、小児科、整形外科、眼科、リハビリテーション科の6科体制で再開されます。

祝 岩手県立山田病院新築落成式



山田病院院長の宮本伸也先生と横川秀男副会長（右上：新病院 / 右下：岩手県から贈呈された感謝状）

東日本大震災における被災地復興支援活動「TMG東北医療支援プロジェクト」とは

平成23年（2011年）3月11日に発生した東北地方の太平洋沖を中心とするマグニチュード9.0の大地震（東日本大震災）と、それに伴う大津波により、死者約1万5,000人、行方不明者約3,000人（被害者数は平成24年〈2012年〉4月18日の警察庁発表による）の甚大な被害がもたらされました。また、同時に東京電力福島第一原子力発電所で事故が発生、放射性物質が周辺地域へ飛散する事態となりました。

こうしたなか、震災発生当初から、医療・介護サービスを必要とする被災された方々の受け入れはもとより、被災地での医療支援活動、義援金の募金活動、生活支援物資の送付等に積極的に取り組んだTMGでは、岩手医科大学と岩手県からの要請により、「TMG東北医療支援プロジェクト」（プロジェクトリーダー：横川秀男副会長）を結成。平成23年4月20日から約3カ月間、医師、看護師、リハスタッフ、事務職員合わせて73名のメンバーが、延べ日数換算で399日にわたり、岩手県立山田病院を拠点とする医療支援活動に従事しました。現地では、急性期から亜急性期、さらには慢性期へとニーズが変わるなか、巡回診療やリハビリテーションを実施するなど長期的な医療支援に尽力し、被災された方々や医療関係者から高い評価をいただきました。また、この活動が、平成25年（2013年）3月に結団された「TMG災害医療支援チーム」（TDR）創設の礎となりました。